

査読者の立場から“初めて論文を書く人のために”

霞ヶ浦医療センター
臨床検査技師長
国仲 伸男

雑誌「医療」の創刊は昭和21（西暦1946）年10月で実に73年と長い歴史があります。創立にあたっては「国立高度専門医療研究センター、国立ハンセン病療養所、独立行政法人国立病院機構等に勤務する会員の資質の向上、医療の進歩発展、教育並びに研究の促進を図り、もって国民医療の向上に資すること及び会員の相互親睦に寄与すること」を目的としています。さらに、投稿規定では、「医学関連の学術論文や情報、政策医療に関連する意見や最新情報を広く掲載する。かつ、国民に開かれた雑誌であるべきとの見地から一般の機関からの投稿も受けつける。」と記されています。国立医療施設に勤務されていない賛助会員も可としており、これだけ医学、医療に特化せず政策医療まで幅広い分野を受け入れる学術雑誌はそう多くはないと思います。

査読者の立場から“初めて論文を書く人のために”を対象に、私が論じるのはおこがましいですが、「論文を書いてみたいけれど、どうしていいかわからない」と考えている方へ、少しでもお役に立てればと思い、編集余滴のコーナーをお借りして論じたいと思います。

【論文を書くためにここだけは押さえて欲しい事項】

- ① 投稿規定を守りましょう：原著（8,800文字以内）、報告（5,600文字以内）で字数が異なります。文字数は、図表は1点400文字で換算し、参考文献まで含みます。そのため図表の数や文献の掲載数にも注意が必要です。
- ② タイトルをつける：論文の内容を的確に表す簡潔な語句で、タイトルを読むだけで論文の趣旨と内容が読者に伝わるものを考える。タイトルは論文の顔である（持論）。
- ③ 要旨、キーワードをつける：研究の目的、方法、結果、考察（結論）を簡潔に述べる。キーワードは5つ以内で、要旨の文中にある語句から選びます。
- ④ はじめに：3段落くらいに分けて考えましょう。第1段落、研究の背景、先行研究で知られていることを論じます。第2段落では、先行研究との相違点やまだ知られていないことを述べ、オリジナル性があること盛り込みます（ここが掴みどころです）。第3段落、論文の趣旨である目的を述べます。
- ⑤ 対象・方法：研究期間や対象条件、方法は明確に。患者情報を含む場合はご施設の倫理審査委員会の承認を受けて下さい。その場合、倫理審査委員会の承認番号を記載することもあります。
- ⑥ 結果：結果の事実をそのまま書く、すべて過去形。方法で述べた項目と関連させると読者がわかりやすい。研究結果は自身の結論に結び付くデータをまとめていただく必要があります。すべてのデータを表にする意味があるか否か再考しましょう。
- ⑦ 図表がわかりやすくできているか：略語のフルスペルや脚注の説明が十分か。データを視覚的にわかりやすい形に変換する。文字より表、表より図です。
- ⑧ 統計学的手法は適切か：データ解析はパラメトリック（2群間；t検定、3群以上；一元配置分散分析）？、またはノンパラメトリック（2群間 Mann-Whitney検定など）？、検定方法は間違っていないか？ また、統計に使用した解析ソフト名®と会社名は明記して下さい。
- ⑨ 考察：これが論文の肝と言っていいでしょう。よくあるのが、結果のまとめや要約になりがちになってしまうことです。得られた結果から結論を導き出すことが肝心です。研究で知られていること、自身の研究でわかったこと、他の文献と比較して一致するもの、逆に一致しないものがあれば、相違点を述べ結論へ導きます。その際、起・承・結の構成で組立てると書きやすいと思います。
- ⑩ 結論：研究から見えた答えを結論とする。短い文章で明確なメッセージを伝える。

- ⑪ 参考文献：投稿規定に沿った書き方をする。ジャーナルによって形式が異なるので、注意が必要です。掲載する参考文献は、本文中の内容やすでに発表されているものは掲載する。結果に対する討議のために参考にした論文を掲載する。また、参考文献の掲載は多ければいいというものでもありません。厳選が必要です。

【論文を書くにあたって】

- ① まずは書きやすいところから始める。対象・方法や結果からでもいいでしょう。
- ② 必ず上位にあたる方に見てもらい手直ししてもらいましょう。
- ③ 一貫性のある論文を書く。私はよく“串に刺さったおでん”と説明しています。すなわち、具はバラエティに富んでいますが一筋通っていて方向性も同じです。
- ④ 医療のバックナンバーで「医療論文を完成させよう - 論文化の意義と押さえておくべきこと -」（医療 72（8/9）：353-354, 2018）と題したシン

ポジウム報告もあります。ご参考までに。

【査読者からのコメント】

投稿を終えると編集室から返事がきます。査読コメントをよく読んで、修正の意図を掴んで下さい。自分の想定範囲内、または逆に凹んでしまうコメントもあるかもしれませんが、査読者が公正に考えた結果ですので、真摯に受け止め対応するよう心掛けて下さい。

【おわりに】

雑誌「医療」へ質の高い論文を投稿していただけるよう、査読者の立場から必要なエッセンスを簡単に述べさせてもらいました。字数の関係もあって細かいことを書くことができませんが、さらに理解を深めるためにも出版されている本などをお読みになして下さい。

論文を書くにあたって最も大事なことは、“熱意”です。諦めずに頑張ってください。acceptされた時の喜びもひとしおです。皆様の熱い投稿を編集委員一同お待ちしております。